



「いのちを結ぶ」 — アートがつなぐ、宗像の未来
第4回「世界遺産宗像 宗像みあれ芸術祭2025」開催

10月1日(水)から20日(月)まで、宗像大社の秋季大祭「みあれ祭」に合わせて「宗像みあれ芸術祭2025」を開催します。宗像の豊かな自然や歴史、文化を背景に、現代アートを通じて「いのちの循環」を表現し、次世代の豊かな心を育むことを目的に今年で4回目の開催です。

今年は、「いのちを結ぶ」をテーマに、全国27件の公募から選ばれた4組のアーティストが、宗像大社や宗像ユリックスを舞台に彫刻やメディアアート作品などを展示。また、約500㎡のウォールアートプロジェクトを初開催。市内の子どもが応募した482点から選ばれた、8点の作品が一部に描かれます。

さらに、11月22日(土)には、宗像の神話とみあれ祭題材にした新作能を上演し、宗像の芸術の秋を盛り上げます。

【概要】

日時：10月1日(水)～10月20日(月) 各施設の開館時間

場所：宗像大社辺津宮、宗像ユリックス、海の道むなかた館ほか

内容：世界遺産シティ宗像から着想を得たアーティストによる作品展示、
ウォールアート、ワークショップ、スタンプラリー等

入場料：無料(ワークショップは一部有料)

●ウォールアートプロジェクト

(株)森田設備開発(宗像市徳重163-1)のビル壁面3面(幅約25m×高さ約10m)とシャッター2面に絵画を描くプロジェクト。九州産業大学造形短期大学の黄禧晶(ファン・ヒジョン)教授・学生とタッグを組んで実現。さらに、地元の高校生アーティストのブーヴィエ・エミリオ・蓮氏、宗像市文化協会も協力。市内の子どもが制作した8作品を加え、「ウォールアート」を制作します。まちの風景に彩りを添える取り組みです。



《出展アーティストほか詳細》



《完成予想 ウォールアート》

●関連「新作能みあれ むなかた神話 海の調べ」(能楽×津軽三味線×アート)

日時：11月22日(土) 14:00開演(13:30開場／16:10頃終演予定)

場所：宗像ユリックス ハーモニーホール

出演：能楽師 今村嘉太郎 ほか

津軽三味線 山口ひろし、宮沢莉乃音、宮沢愛乃音、宮沢詩乃音

チケット(全席自由)：一般 4,000 円／小中高生 1,000 円 ※親子無料招待あり



《詳細》

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

記事について：宗像市文化スポーツ課 井上・高尾 TEL:0940-36-1540

イベントについて：宗像現代美術展実行委員会 事務局 青柳 TEL:080-4454-7911